

心の ともしび



暗いと不平を言うよりも
すすんであかりをつけましょう

人生の刺繍

かたやなぎひろし
片柳弘史 神父



一枚の布に、さまざまな色の糸で美しい模様を縫い上げていく刺繍。わたしたちの人生は、その刺繍を裏側から見ていくようなものだといった人がいる。どんな美しい刺繍でも、裏側から見れば、絡み合った糸が並んでいるだけで、表にどんな美しい模様が描かれているのかわからない。それと同じで、わたしたちの人生も、生きているうちに地上から見ると、一つ一つの出来事にどんな意味があるのかわからない。しかし、天国にいつて上から見れば、すべての出来事が全体として美しい模様を作り出していたことがわかるというのだ。

刺繍の作者は神さまだと考えてよいだろう。神さまは、わたしたちの人生のさまざまな出来事を通して、刺繍を一針一針、丁寧に縫い上げていく。しかし、わたしたちは、その一針の意味がわからないので、「なぜ、わたしにこんなことが起こるんだらう」と考える。

辛いことが続いたときなどは、「こんな

ことを続けても意味がない」と思っ、あきらめなくなる時さえある。

そんなときに、

この「人生は、美しい刺繍を裏側から見ているようなもの」という言葉を思い出したい。いま自分には意味がわからなくても、神さまがなさることに必ず意味がある。そう信じて、最後まで刺繍を仕上げる。最後まで生き抜くことが大切なのだ。

物事がなかなかうまく進まないときは、神さまが特に入念にその部分を仕上げていくときだと考えたらいいだろう。天国から刺繍の全体を見たとき、その部分はきつと、全体の中でも特に美しく見えるはずだ。

いつの日か、天国から刺繍の全体を見てにっこりほほ笑む日がやってくる。そう信じて、人生の刺繍を一日一日、丁寧に縫い上げていきたい。

ホームページ (<https://www.tomoshihi.or.jp>)



【ラジオ番組「心のともしび」】 月曜日から土曜日まで毎朝、全国ネットで放送中！

各方面で活躍中の執筆者約30名が、その月のテーマに沿って書き下ろしたお話をナレーターの朗読でお届けする番組です。放送されたお話の中から毎月6篇を選んで機関紙に掲載しています。ぜひ、他の方のお話もお聴きください。パソコンやスマートフォンでも「ポッドキャスト」で午後1時（土曜日放送分は日曜日）から配信しております。ラジオが聴けるアプリ「ラジコ」のタイムフリーなら過去1週間以内に放送された番組がお聴きいただけます。

放送時間や「ポッドキャスト」、「ラジコ」などはホームページを御覧ください。

仮事務所 連絡先 (電話：075-211-9341 FAX：075-211-9343)

〒602-0934 京都市上京区一条殿町502-1 カトリック西陣教会青年会館内 心のともしび運動YBU本部